

N2事故(GK破損事故)シリーズ⑧

事故から3ヶ月、やっと関西で業務委員会が開催されるが…!?

他社だけでなく、自社のことも言えない!?

5月31日、関西支社はやっとJR東海労新幹線関西地本と3月3日に発生したN2事故について業務委員会を開催しました。

事態が起きてから約3ヶ月経ってからの業務委員会ということで、まさしく『人のウツサも75日』ということわざ通り、記憶の片隅にという感じではありますが、新幹線の安全にとって重大な台車関係のことですので風化させる訳にはいきません。

しかし、業務委員会の内容としては4月9日にJR東海労本部と本社間で行われた業務委員会と同様に「他社の事柄であり、回答する立場にない」「JR西日本で判断した」等々の回答が多く、東海の車両について調査したことも「調査内容に付いては言えない」「言えるかどうか分からない」これではとても事故を真摯に受け止めて安全対策を講じようとしているとは思えません。

根拠を明らかにすれば『ピントがぼける』!?

会社が事故を真摯に受け止めていない姿勢は、業務委員会での「主なやり取り」に表れています。

会社は、事故後の点検に「事故が発生したから」という根拠を言って入念な点検を作業指示すべきだと思いますが、実際は何ら根拠を示さず「入念な点検」と言うだけでした。そして根拠を言わない理由を「ぼやけるから、入念にやってもらえば良い」「特に言う必要はない」「不確かな情報を社員に報告することになる」「ピントがぼけると良くない」「的を絞ってしっかり見なさいということ」など訳のわからない開き直ったようなことを言っています。

根拠を言えば「ピントがぼける」と言ってはばからない会社の方がピントがぼけているのではないのでしょうか？

これでは、本当に点検で事故を防ごうとしているのか疑問に思えてこないのでしょうか、皆さんどう思います!?

事故を風化させることなく原因究明と対策を求めて職場から声を上げましょう!!

<裏面に関西業務ニュースNo127の主なやり取りの抜粋を掲載>

<主なやり取り>

関係社員に作業指示のみで、根拠を明らかにしない姿勢！

組合：申し入れに社員に明らかにしない理由を聞いているが何故答えないのか。

会社：他社の事なので特に明らかにしない。

組合：それで良いのか、聞いていることに答えていないが。

会社：必要な社員には伝える。事故のことであれば他社のことであって、JR東海で見解は出来ない。

組合：必要な社員とは具体的に誰のことか？回答では「入念な点検を指示した」とあるが、こういう事象があったからこういう点検をするのだと具体的に伝えたのかと云うことだ。

会社：入念に点検すべき所をしてもらえば良い。

組合：普通の点検に更に指示される訳だから、何のために点検するのか意味がわからない。

理由、根拠を何で言わないのか。

会社：ぼやけるから、入念にやってもらえば良い。

組合：作業をする人は何でやるのかなと疑問に思うのが当然、疑問の解消を求めるのは当たり前。

何故やるのか伝えない理由は何か？

会社：特に言う必要はない。不確かな情報を社員に報告することになる。ピントがぼけると良くない。的を絞ってしっかり見なさいということ。

組合：指示した根拠がある。それを言えばいいのだ。大事なことだと思う。何も知らないで指示だけでは不親切だ。

会社：その時々で1番いい伝え方を、色んな方がいますし、ピントがぼやけてしまう。

組合：社員には細かいことを言う必要ないと言う姿勢だ。56Aの事故と入念点検の指示は無関係なのか？

いわない理由は、受け取る側の問題を懸念してということだな。

会社：特にいう必要はないと判断したのでしょう。色々な要素がある。その都度の判断がある。

組合：情報として過去事例とかは上げて事故防止とか言うではないか。何故、根拠をハッキリ言えないのか。

会社：入念な点検をしなさいと的確な指示をだした。

組合：今後、この種の事柄については、根拠を明確にすることを強く求める。

他社の事であり明らかにする立場ではないと不誠実な会社！

組合：事実経過など明らかにしていない。他社であっても資料とかもらっているのではないのか。資料を入手しているのかも言えないのか。

会社：明らかにする立場でない。

組合：同じ車両があるわけでしょ、資料等を入手しJR東海としても対策とかたてるはず、上越新幹線で同種の事故発生したときもJR東海として対策たてたではないか。資料とか気になるはずだ。

会社：言える立場でない。

組合：東海にも入ってくるし、検修歴とか分かるはず。持っているが言わないのか、それくらいは言えないのか。

会社：今現在、あるとも無いとも言えない。他社の事だから言える立場でない。

組合：全然、重要性が感じられない。他社の事だから、一切対策のための資料も検討しないと云うことで確認する。

会社：明らかにする立場でない。答えられない。

組合：労働組合と安全問題について軽視している、他社の事だから、一切答える必要はないということだな。非常に不誠実で不真面目である。他社の事なのに、何故入念点検をするのだ！

東海会社の対策はどうなっているのだ？

組合：原因は全く分からないのか？何故コロが突き破ったのだ。今回の事故を受けて東海で何か調査をしたとか、調査の予定はあるのか？

会社：サーモラベル、サンプル調査を行っている。

組合：編成を指示しているが、何か理由があるのか？

会社：今、私の手元に資料がない。

組合：コロのメーカー、軸受けも分からないのか？

会社：分からない。把握していない。

組合：他社の事ではあるが気にならないのか？東海会社の調査内容に付いて答えてもらいたい。

会社：調査内容に付いては言えない。

組合：何時になったら言えるのだ。

会社：言えるかどうか分からない。

組合：原因が判明しても現場の社員には作業指示という形でしか、明らかにならないということか？調査した内容は明らかにしてもらいたい。

異常時の体制を明確にせよ！

組合：業務量調整はどの様に行ったのか？

会社：当日は臨修を1件行った。後は調整した。

組合：今後も呼び出しはしないのか？

会社：基本は出面確保である。場合によっては要員呼び出し、業務量の調整や超勤などになる。

組合：6人でやる作業を5人でやるようなことはないな。

会社：緊急の場合など、時間をかけてもいいからというケースも出てくる。6人揃わないと行わないとはならない。

組合：異常時だからいっているだけだ。当然、過度に負担にならないようにしてもらいたい。